

新たな評価方法の導入に向けていただいたご意見

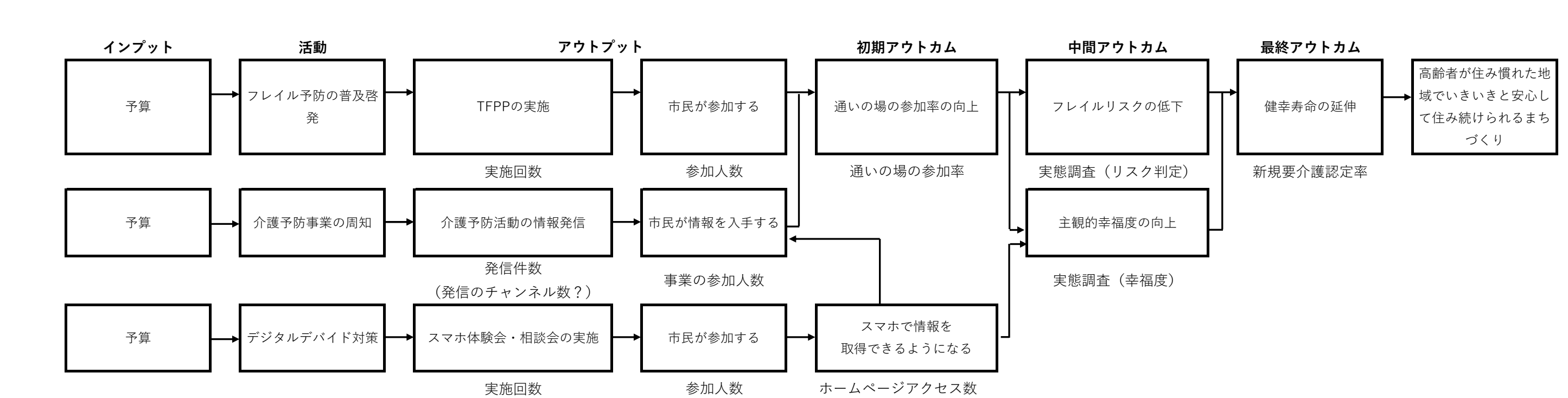
項番	分類	評価に関する指摘事項	対応状況	対応方針
1	ロジックモデルの導入目的	ロジックモデルの導入目的、概要を示した方がよい。 特定の対象者に限定したモニタリング目的か、事業管理・改善が目的か。	対応済	事業管理・改善を目的としており、特定の対象者に限定することは想定していない。（資料5参照）
2	個別計画と関連計画の評価	関連計画以外の施策もロジックモデルの対象とするのか。	対応済	地域福祉計画や関連計画に記載があり、施政方針で表明している施策をロジックモデル導入の対象とする（資料5参照）
3	職員の負担	評価のための評価にならないように。評価に係る負担の増加は本末転倒。	検討中	施政方針に特に関連する施策や各課からの手挙げによる一部施策について、計画上での進行管理を行う。
4		職員の負担増加を考えると、難しいのではないかな。	検討中	
5	職員のモチベーション向上	評価によって得られる効果を見える化することで、職員のモチベーション向上につなげるべき。	検討中	モチベーション向上に繋がる直接的なメリットが見えづらいことが問題。 メリット ・ 事業目的や目標を整理し、達成に向けた道筋を可視化することで、効率的な事業実施を目指すため。 ・ 関係者への説明、理解がしやすくなるため。 ・ 組織で異動が生じた際でも、認識共有が容易になるため。 問題 ・ 初期の事務負担 ・ ロジックモデルだけで事業全体が理解できることが理想（ゴール、実施事業、各アウトカムの数値等） ・ ロジックモデルに馴染まない事業も存在する
6	先行導入	一部施策については、先行導入を検討してほしい。	調整中	一部施策については、令和8年度からの後期計画にて先行導入の予定。
7	目標指標の設定	目標指標の設定方法を整理したほうがよい。	調整中	各課へのヒアリングを引き続き実施する。 ニーズ調査や効果測定の方法については、市政世論調査や各課調査以外の方法を検討していく。
8	市民目線の評価	難しい内容ではなく、市民目線での分かりやすい評価をお願いしたい。	検討中	全ての施策について評価を行うのではなく、施政方針等に特に関連する身近な施策について評価を行う。 評価にあたり、分かりやすいデータの提示や市民参画の方法については、引き続き検討を行う。

地域福祉計画へのプログラム評価導入に向けたロジックモデル（案）

計画名：高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画

対象：基本目標 1 健幸寿命を延伸する 1. 健康づくり・フレイル予防・介護予防の推進 （2）フレイル予防の推進

地域福祉計画の関連分野：基本施策 2 子どもから大人まで地域ぐるみで「健幸」を目指す 施策（1）健康づくり・生きがいづくり



地域福祉計画へのプログラム評価導入に向けたロジックモデル（案）

計画名： 多摩市障がい者（児）福祉計画

対象： 施策6 共生社会（インクルーシブ社会）に向けたまちづくり （1）差別解消および障害理解、啓発の取り組みの推進

地域福祉計画の関連分野：基本施策 6 多様な支援を推進する 施策（6）多様性の尊重とユニバーサルデザイン

